

第2 大気中（一般環境）のアスベスト濃度調査

1 目的

大田区における大気中（一般環境）のアスベスト濃度の状況を把握するために、区内3か所において調査を実施した。

2 調査地点

- (1) 大森地域庁舎 駐車場脇（大森西一丁目12番1号）
- (2) 雪谷特別出張所 駐車場脇（東雪谷三丁目6番2号）
- (3) 萩中公園水泳場 屋外プールサイド（萩中三丁目26番46号）

昨年度までは、各庁舎とも屋上で実施していたが、今年度は地上での測定とした。

3 調査日及び天候

令和3年11月29日：晴、30日：晴、12月2日：晴

3日目の採取予定日（12月1日）に降雨が予想されたため、捕集は12月2日に実施した。

4 調査方法

「アスベストモニタリングマニュアル（第4.1版）」（平成29年7月 環境省）に従い、一般環境におけるアスベストの測定として分析走査電子顕微鏡法で行った。

5 調査結果

アスベスト（クリソタイル・アモサイト・クロシドライト・アンソフィライト・トレモライト/アクチノライト）は、表1の通り、3地点とも検出されなかった。

表1 測定結果一覧表

調査地点	試料採取年月日・時間	視野数	本数	繊維数濃度		EDX スペクトルによるアスベストの同定					
				本/L	幾何平均 ^{※1}	クリソタイル （本）	アモサイト （本）	クロシド ライト （本）	アンソフィ ライト （本）	トレモライト/ アクチノライト （本）	その他の 繊維 ^{※2} （本）
大森地域庁舎	R3.11.29 10:45~14:45	870	22	0.82	0.96	0	0	0	0	0	22
	R3.11.30 10:25~14:25	870	50	1.8		0	0	0	0	0	50
	R3.12.2 10:30~14:30	870	16	0.60		0	0	0	0	0	16
雪谷特別出張所	R3.11.29 11:15~15:15	870	23	0.86	1.0	0	0	0	0	0	23
	R3.11.30 10:55~14:55	870	57	2.1		0	0	0	0	0	57
	R3.12.2 11:00~15:00	870	18	0.67		0	0	0	0	0	18
萩中公園水泳場	R3.11.29 10:00~14:00	870	14	0.52	0.63	0	0	0	0	0	14
	R3.11.30 10:00~14:00	870	18	0.67		0	0	0	0	0	18
	R3.12.2 10:00~14:00	870	20	0.75		0	0	0	0	0	20

条件：吸引量 10 L/min×240 min、メンブランフィルター/低温灰化法 検出下限値：0.037 本/L

※1 幾何平均とは、相乗平均ともいい3回の本数を全て乗じた値の三乗根で求め、当該地域の総繊維数濃度となる。

※2 硫酸カルシウム、ロックウール、グラスウール等

調査地点のうち、大森、雪谷の2か所では平成23年度から、萩中公園水泳場（糀谷・羽田地域庁舎分室、現・都市基盤整備部公園課）では平成27年度から調査を実施している。

過去5年間の調査結果の経年変化は、表2のとおりである。アスベスト繊維は確認されていない。すべて検出下限値未満となっている。

表2 大気中（一般環境）のアスベスト濃度 経年変化

調査地点※	アスベスト繊維数濃度				
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
大森 地域庁舎	0.054本/L 未満	0.037本/L 未満	0.037本/L 未満	0.037本/L 未満	0.037本/L 未満
雪谷 特別出張所	0.054本/L 未満	0.037本/L 未満	0.037本/L 未満	0.037本/L 未満	0.037本/L 未満
萩中公園 水泳場	0.054本/L 未満	0.037本/L 未満	0.037本/L 未満	0.037本/L 未満	0.037本/L 未満

※各地点とも令和2年度までは屋上、令和3年度からは地上で実施。

〈基準の目安〉

大気汚染防止法では、特定粉じん(アスベスト)発生施設等の敷地境界で基準が定められており、その濃度は空気1リットルにつきアスベスト繊維は10本である。

また、「建築物の解体等に係る石綿（アスベスト）飛散防止対策マニュアル（平成29年12月東京都環境局）」では、漏えい監視の観点からの目安は、空気1リットルにつきアスベスト繊維は1本としている。なお、このマニュアルは令和4年3月に改正され、外部の一般環境の総繊維濃度について、1リットルあたり1本を目安とすることも可能であると記載されている。